

第5次計画に向けた提言

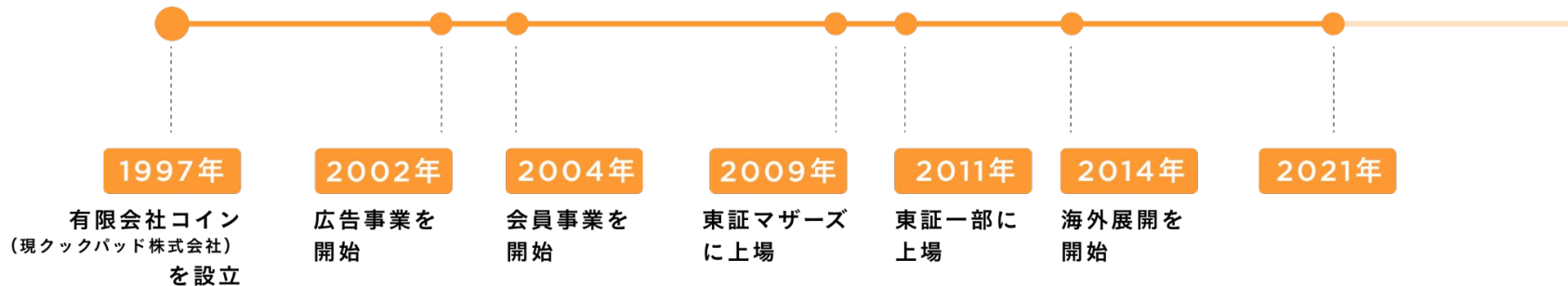
クックパッド株式会社 小竹貴子

クックパッドのミッション

毎日の料理を楽しみにする



1997年創設のITサービス企業



第4次計画の成果

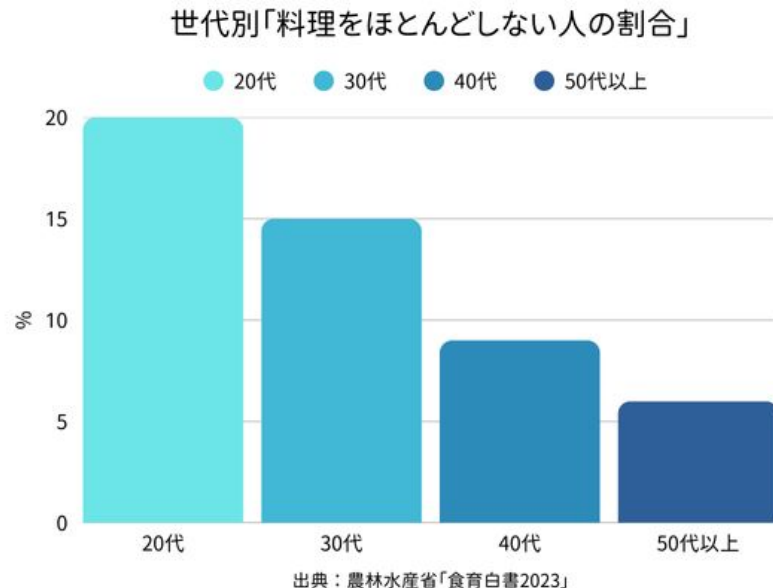
第4次計画の成果

- ✓ 共食の推進(家族・地域での食機会拡大)
- ✓ 地産地消の定着(学校給食・産地交流)
- ✓ 食文化継承(郷土料理・伝統料理体験)
- ✓ 子どもの体験学習・孤食対策(施策強化、認知度向上)

残された課題

「食べる機会」「体験の場」は広がったが
しかしつくる力(料理を自らできる力)は十分でない

- － 若年層：料理未経験・調理離れ
- － 働く世代：家庭での調理頻度減少
- － 高齢期：調理断念が生活機能低下に直結



世界的な時流

課題:

- Z世代の調理スキル不足

(自分に料理スキルがある”と答えたのはわずか33%)

- 先進国で家庭料理率が低下

機会:

- 物価高で自炊率が回復

- 家庭料理を「楽しみ」として再評価

(出典: Home Run Inn Pizza “Cooking Habits of Gen Z & Millennials”, 2023 年)

5次計画への提言

5次計画への提言

「食べる力」から「つくる力」へ
料理を「義務」ではなく「楽しみ」として根づかせる

提案3本柱:

- 🧒 子ども: 楽しい調理体験
- 👩 働く世代: 忙しくても料理をやめない仕組み、女性だけのものとしな
い文化づくり
- 👵 高齢期: 料理継続が健康寿命を支える

参考資料



「5教科のように数字で評価しやすいのが認知能力。一方で非認知能力とは数値化しづらい能力のことです。たとえば、我慢する力や周囲との協調性、自立して生き抜いていける力などです。変化が速くて先の見えない時代の人材育成には、非認知能力の重要性がより高まっていると思います。」



むすびに

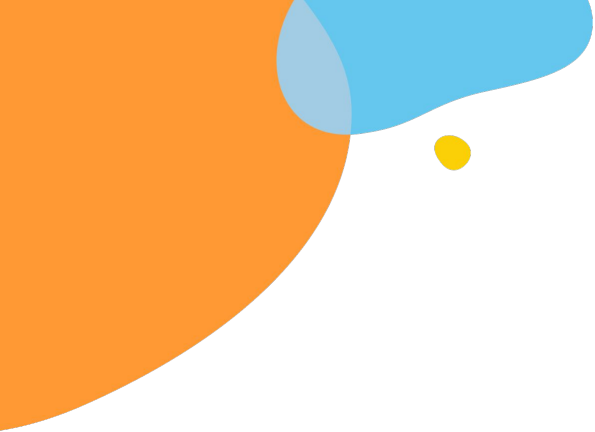
第4次計画の成果を基盤に

第5次計画では「料理を楽しむ人を増やす」ことを新たな柱に

料理は:

- 健康を守る
- 自立を支える
- 文化を継承する
- 人生を豊かにする
- 地球環境をよくする

料理を“義務”から“楽しみ”へ



Make everyday cooking fun!

